



令和 4 年度 施策評価表

施策	1702 新幹線を活かしたまちづくり	施策担当部	都市整備部	部長	嶋原 純治
		施策担当課	新幹線まちづくり課	課長	中島 了二
施策の方針	九州新幹線西九州ルートを整備するとともに、新たなまちづくりの拠点となる新大村駅周辺や新幹線車両基地周辺の整備を進め、観光やビジネスなど多様な交流を促進する。				
関連するSDGsのゴール	   				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 新大村駅周辺整備事業の進捗率	%	63.0	94.0 82.9	97.0	100.0	100.0	100.0	88.2%	82.9%
② 新大村駅の乗車人員数	人/日	—	—	2,100	2,100	2,100	2,100		
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新幹線の整備については、鉄道・運輸機構や関係機関と連携を図りながら整備促進を図るとともに、広報誌やホームページ等により広報活動を行った。
 新幹線新駅周辺地区については、土地区画整理事業を進め、平成30年度から街路や宅地等の基盤整備に着手した。
 地権者との契約については、駅周辺整備の詳細な工程計画を策定し、地権者の仮住居期間の短縮等を考慮しながら事業を進めており、令和2年度末までに全ての地権者との契約が完了し、また、車両基地周辺地区においては、令和3年度末までに駅へのアクセス道路及び駅前広場が概ね完成した。
 新大村駅公園の整備については、公園に隣接する民間事業者が活用する区画と一体的な空間となるよう設計・整備を行う方針に変更したため、多少の遅れが生じており、目標値には至らなかったが、事業全体としては、おおむね順調に進捗している状況である。
 平成30年度に策定した「大村市新幹線開業アクションプラン」については、大村市新幹線アクションプラン推進協議会と連携し、市民一丸となったアクションプランの推進に取り組んでいる。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,739,401	1,960,078	484,982	
	国庫支出金	608,452	699,388	144,799	
	県支出金	2,444	1,400	0	
	地方債	784,177	728,830	252,000	
	その他	0	7,000	0	
	一般財源	344,328	523,460	88,183	
	人件費	134,359	128,599	—	
	フルコスト	1,873,760	2,088,677	—	

施策の概要（細施策）

170201	新幹線の整備促進	九州新幹線西九州ルートの開業に向け、関係機関や関係自治体と連携しながら、着実な整備を促進します。
170202	新大村駅周辺の拠点の形成	新大村駅周辺の基盤整備を行い、高い交通利便性を活かして、企業誘致や定住促進等に取り組みます。 また、車両基地の整備に伴い、周辺部への関連企業の誘導を図るとともに、新たな観光資源として活用するなど、立地を活かした取組を進めます。
170203	多様な交流の促進	九州新幹線西九州ルートの開業に向け、おもてなしや観光商品づくりなど、「大村市新幹線開業アクションプラン」に基づき、官民が一体となった交流人口の拡大に取り組むとともに、ビジネスや学術など、多様な交流活動を促進するため、積極的な情報発信に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

現在、令和4年9月23日の開業に向け、ハード整備は着々と進みつつあるが、新幹線を最大限に活かしたまちづくりに結び付けていくためには、官民が一体となった新幹線開業アクションプランの実施や、魅力的な新幹線駅前となるための新大村駅前市有地開発事業及び交通結節点としての二次・三次交通の充実が課題である。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

新大村駅前市有地開発事業の事業予定者との基本協定を令和4年3月に締結した。今後は土地譲渡契約の締結に向けて事業予定者と協議を重ねていく。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費(千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	